

漢字の筆順入りフォントの作成、利用、イラスト再利用などイメージ作りがもたらす効果
CREATING, EDITING AND USING IMAGES AND FONTS WITH STROKE ORDERS FOR
EFFECTIVE TEACHING IN AND OUT OF THE CLASSROOM

橘婦美子、パロマー・カレッジ

Fumiko Tachibana, Palomar College

Abstract : Many teachers try to make use of online materials in their teaching, yet few actually create their own images on a daily basis. It benefits the teacher to know the very basics of using the picture tools. Creating kanji images with stroke orders has proven beneficial in my teaching, because once images have been created you can use the same images in multiple ways, thus bringing extra and constant awareness and reinforcement of the importance of kanji learning. Images are easy to be presented in the classroom by just clicking the mouse, right and/or left along with the kun and/or on readings in a speedy way.

Keyword: effective teaching, beginner's level, kanji, stroke order, fonts, images, photos, pictures, 初級レベル、漢字、筆順入りフォント、イメージ、写真、イラスト、

1. INTRODUCTION

イメージを作ることはちょっとした時間があれば難しくなく、楽しく出来る。教科書の図や絵にわかりやすい色を入れたり、色線を入れると非常に理解しやすく、スクリーンで大きく提示することができる。数字などのデータエントリのような細かい作業も、コンピュータで倍率を上げて、より確かな作業を行うことができる。漢字は筆順をいれて一旦イメージを作ると、スケジュールに入れ込んだり、テキストの中に入れたいことができる教師の側のメリットと同時に、モチベーションの高い学生はDSにいれたりして学習効果をあげるなど実に多目的に利用できるのも便利である。

2. DISCUSSION

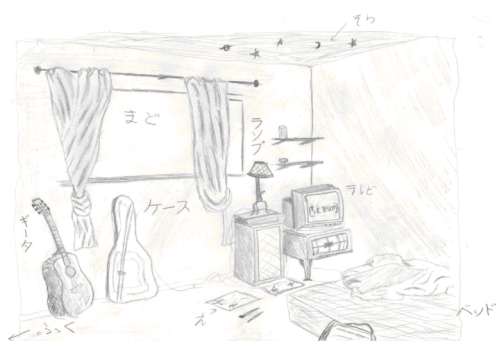
イメージの使用により身近に日常生活と教室をつなぐ。

1. 学生が描いた絵やイラストなどの資料を保存し、軽く加工して線を入れたりして再利用をする。
2. 教材のために市販されている写真やイラストは学習に大事なものであるが、ニュース性はない。朝のニュースやカルチャーイベントなどのホットニュースの写真を取り出して、線や矢印やキャプションを加えてわかりやすく提示することができる。
3. 自主教材を二年前に作成し毎学期編集しなおして使用しているが、思わぬ効果が多く現れてきた。そのひとつめ。ひらがな→カタカナ→漢字提示順位を、漢字→ひらがな→カタカナの順に入れ替えただけで、漢字に対する意識が自然に高まった。ふたつめ。筆順

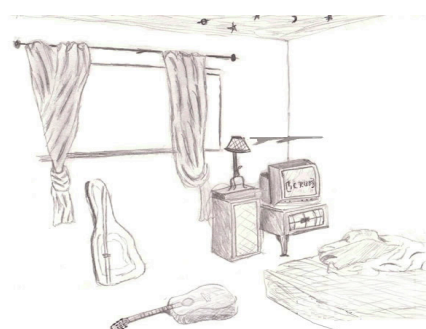
つきの漢字フォントを作ったが、利用価値が高いことがわかった。教師が作るイメージは自由に学生に与えることができるのでメリットが多い。

1. 日本語のクラスには絵を描くことに興味がある学生がなぜか多く集まっているようだ。提出した絵をスキャンし、スクリーンに大きく映し出して学生の発表をしやすいとする。学生の集中度が高まる。一度使ったイメージは共通の土台ができていたのでそれを加工して再利用する。以下のイメージは教室で使ったあとテストに再利用した。

編集前 (縮小)



編集後 (縮小)



この程度のことならだれでもマクロメディア Fireworks などの画像編集ソフトを使って簡単に作成できる。倍率をあげれば線をきれいにしたり、ものの位置や向きを変えたり「ごみ」を取り除くことが簡単にできる。

テストに使用

6. Lately Eric has been very busy. He hasn't cleaned his room for over a month and it looks very messy now. He has more items described below. Please draw the seven items in the picture described below:

1. 左のカーテンの下に ^{ひだり} でんわ ^{した} が あります。
2. ギターの ^{うへ} 上に ^{ひだり} ねこが います。
3. ギターケースの左に ^{あいだ} コーラが あります。
4. ギターケースと ^{shelf} スピーカーの ^{うへ} 間に ^{ほん} 本が あります。
5. テレビの上の ^{うへ} 棚の上に ^{うへ} ミルクのパックが あります。
6. ^{うへ} ベッドの上に ^{window outside} ジーンズが あります。
7. ^{who is worried} 窓の外に ^{who is worried} 心配したクラスメートが います。

上記の学生は作品が使用されたあと自発的に漢字の練習をしはじめた。二学期目でかなり漢字を書けるようになっている。その因果関係はまだ解明中だが、モチベーションは高まった。筆者のウェブサイトには過去約7, 8年でかなりの学生が登場している。

2. その日のニュースの画像に一本に線や矢印を入れるだけで教師の伝えたいことが視覚的にも生徒に伝わる。



順位	国名	金	銀	銅	合計
1	ロシア	9	10	5	24
2	カナダ	6	6	9	19
3	中国	4	4	8	16
4	アメリカ	7	6	5	18
5	韓国	5	8	5	18
6	日本	4	4	4	12
7	フランス	2	2	4	8
8	イタリア	2	2	1	5
9	ドイツ	1	2	1	4
10	アメリカ	2	2	0	4
11	中国	2	2	0	4
12	ロシア	1	2	0	3
13	カナダ	1	2	0	3
14	中国	1	2	0	3
15	韓国	1	2	0	3
16	日本	1	0	2	3
17	フランス	0	2	1	3
18	イタリア	0	2	1	3
19	ドイツ	0	2	1	3
20	アメリカ	0	2	1	3
21	中国	0	2	1	3
22	ロシア	0	2	1	3
23	カナダ	0	2	1	3
24	韓国	0	2	1	3
25	日本	0	2	1	3
26	フランス	0	2	1	3
27	イタリア	0	2	1	3
28	ドイツ	0	2	1	3
29	アメリカ	0	2	1	3
30	中国	0	2	1	3
31	ロシア	0	2	1	3
32	カナダ	0	2	1	3
33	韓国	0	2	1	3
34	日本	0	2	1	3
35	フランス	0	2	1	3
36	イタリア	0	2	1	3
37	ドイツ	0	2	1	3
38	アメリカ	0	2	1	3
39	中国	0	2	1	3
40	ロシア	0	2	1	3
41	カナダ	0	2	1	3
42	韓国	0	2	1	3
43	日本	0	2	1	3
44	フランス	0	2	1	3
45	イタリア	0	2	1	3
46	ドイツ	0	2	1	3
47	アメリカ	0	2	1	3
48	中国	0	2	1	3
49	ロシア	0	2	1	3
50	カナダ	0	2	1	3
51	韓国	0	2	1	3
52	日本	0	2	1	3
53	フランス	0	2	1	3
54	イタリア	0	2	1	3
55	ドイツ	0	2	1	3
56	アメリカ	0	2	1	3
57	中国	0	2	1	3
58	ロシア	0	2	1	3
59	カナダ	0	2	1	3
60	韓国	0	2	1	3
61	日本	0	2	1	3
62	フランス	0	2	1	3
63	イタリア	0	2	1	3
64	ドイツ	0	2	1	3
65	アメリカ	0	2	1	3
66	中国	0	2	1	3
67	ロシア	0	2	1	3
68	カナダ	0	2	1	3
69	韓国	0	2	1	3
70	日本	0	2	1	3
71	フランス	0	2	1	3
72	イタリア	0	2	1	3
73	ドイツ	0	2	1	3
74	アメリカ	0	2	1	3
75	中国	0	2	1	3
76	ロシア	0	2	1	3
77	カナダ	0	2	1	3
78	韓国	0	2	1	3
79	日本	0	2	1	3
80	フランス	0	2	1	3
81	イタリア	0	2	1	3
82	ドイツ	0	2	1	3
83	アメリカ	0	2	1	3
84	中国	0	2	1	3
85	ロシア	0	2	1	3
86	カナダ	0	2	1	3
87	韓国	0	2	1	3
88	日本	0	2	1	3
89	フランス	0	2	1	3
90	イタリア	0	2	1	3
91	ドイツ	0	2	1	3
92	アメリカ	0	2	1	3
93	中国	0	2	1	3
94	ロシア	0	2	1	3
95	カナダ	0	2	1	3
96	韓国	0	2	1	3
97	日本	0	2	1	3
98	フランス	0	2	1	3
99	イタリア	0	2	1	3
100	ドイツ	0	2	1	3



ニュースとして紹介する程度だが矢印や線でなかなか盛り上がるし、漢字の認識もスムーズ。

3. 漢字のイメージを作ることの効果。

漢字ひらがなカタカナのイメージをスライド形式で提示する。漢字のリストを希望する学生に配布するが大変喜ばれる。配布を始めた 2005 年の秋に、3 単位のクラスを取っていた 14 歳の高校生はポータブルゲーム (DS) に入れ込むことを思いつきずっと今も楽しく日本語学習を続けている。

漢字を一つ一つ素早くクリックして行ったり来たりしながらイメージを定着させるのに役に立つ。



図 2 漢字:Japanese Workbook Part 1 by F. Tachibana

作成はコンピュータの画面で何倍にも拡大し作業をしたあと、また同様に縮小して、素人ながら小さいイメージも簡単にしかもかなり精密に加工できる。イメージを一旦作ると同じイメージを普通の文字として再利用できる。

動く動画の漢字ゲームはいろいろあるが、静止画にも非常に効果的な利点がある。これらも、簡単に書き順付のままで利用しスクリーンに投影しゲームをすることができる。

(縮小サイズ)



漢字からでてくるエネルギーを今の学生に伝える。

例。(縮小サイズ)

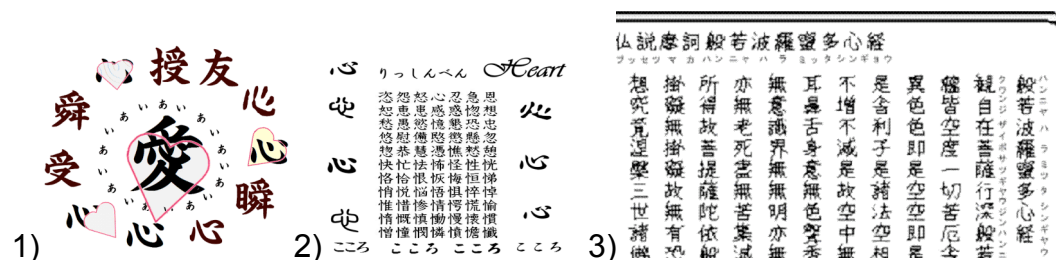


図 1)Tachibana’s Japanese Workbook Part 1 (Kanji introduction), 図 2) Tachibana’s Japanese Workbook Part 2 (Kanji introduction), 図 3) Tachibana’s Japanese Workbook Part 1 (Katakana introduction page) 1) は「心」の解釈をアートとして提示、2) 漢字の起源を思わせるようなフォントを利用して、3) は昔のお坊さんになったつもりで般若心経にカタカナをつけてみる。

3. CONCLUSION

イメージを教師が自在に作成し編集できることは有意義なことである。特に、先に述べた筆順がついた漢字のイメージはフォントとして利用し、教材として入れ込むことができる。筆順入り学習フォントの開発はいろいろな意味でメリットがあると考えられる。教師が学生に自由に提供することもできるので大変効果がある。特別な技術やソフトウェアを必要としないので奨励されるべきではないだろうか。さらにまた、ワード文書で作成した自主教材はスクリーンにそのままの形で表示することができ、写真やイラストもオリジナルサイズあるいは拡大・縮小をして提示することができる。またスクリーンを外してホワイトボードに投影されたテキストに直に答えやコメントを書き入れたり、原始的ではあるがすばやく処理ができるなど、教室内の様々な使用法が考えられる。

PREFERENCES

- 1.1 Banno, Eri, et al. (1999). *Genki 1: An Integrated Course in Elementary Japanese I*, Japan: Japan Times (4789009637)
- 1.2 Tachibana, Fumiko. (August 2005, 2006, 2007). *Japanese Workbook Part 1*. San Diego: Fumiko Tachibana (09778622-24)
- 1.3 Tachibana, Fumiko. (January 2006, 2007). *Japanese Workbook Part 2*. San Diego: Fumiko Tachibana (0977862232)
- 1.4 Yomiuri Online News in Japan (2006) <http://www.yomiuri.co.jp/>